

# 言葉の取り扱い方（視点）の唯一無二性について

槇野 沙央理 (Saori Makino)

城西国際大学国際人文学部

ある言葉が意味あることとして(自明なものとして)立ち現れているとき、そこには、——しばしば当然のこととして看過されがちな——ある言葉を意味あることとする働きがある。これは言い換えれば、ある言葉が意味を持つということが、前提を導入したり、基準を採用したりすることから無関係に成立するのではない、ということである。このような「働き」があるということを明示的にしていくことが、本論の目的である。

ここで、ある言葉を意味あることとする働きを被る帰属先として、「視点<sup>1</sup>」という語を導入することとする。すると問題は、ある「視点」が被る「働き」とはどのようなものか、と言い換えられる。これにより、問題は次の二つの問いに分析される。すなわち、ある言葉が意味あることとして立ち現れているとき、①言葉を意味あることとして取り扱っているどのような視点が、②何を被っているのか。

働きの帰属先であるところの「視点」は、働きを被りそれを引き受ける主体という考えを形成する。それに加え、問い①を通じてそれがどのような主体であるかを問われることで、「視点」は、あぶり出しを受ける何らかの主体が最低でも一つはある、という考えをも形成するようになる。つまり「視点」ということで、私たちは、ひとまとまりの言葉を取り扱う仕方を有する(被る)ような何らかの主体が最低でも一つはある、ということを得る。

こうした「視点」の導入が、言葉を取り扱う有機的な知のシステムを準備する。有機的な知のシステムとは、言葉を取り扱うさまざまな仕方(さまざまな視点)を「編成すること(Zusammenstellung)」(PU §109)ができ、その編成の中で(それ自体が)成長していくひとまとまりの仕組みのことである。このような有機的な知のシステムを、多元的一性をもつものと呼ぶことができるだろう。

このような知のシステムを十全に形成するためには、個々の視点にどのような個性があるのかということを探求する必要がある。というのも、個々の視点の個性が埋没している状態では、言葉を取り扱う仕方(視点)の複数性を言うことはできても、それらの有機的連関までは言えないと考えられるからである。

ここで、視点が何を被るかを問題にする、問い②の意義が浮かび上がってくる。もし特定の視点が何を被るかを、いわば、ある視点が言葉を意味あることとする「プロセス」を明示化すれば、視点の個性をも——視点の唯一無二さをも際立たせることができるだ

---

<sup>1</sup> 「視点」という言葉に、これまでのウィトゲンシュタイン研究で用いられてきた言葉をあてがうならば、‘point of view’ (cf. Malcolm 1993) や‘viewpoint’が考えられる。類似の表現として‘standpoint’が挙げられるが、これは固定的なウィトゲンシュタインの立場を措定するよう見えるため、避けたいと思う。Genova (1995) も‘standpoint’という言葉に注意深く避け、‘view’という語を多用している。

ろう。

このように本論では、視点の唯一無二性を浮かび上がらせ、有機的な知のシステムを十全に形成していく。そのために、晩期ウィトゲンシュタインの『哲学探究』第2部 xi 章を中心とした、アスペクトをめぐる考察を活用したいと思う。特定のアスペクトは、立ち現れた結果のみを見るならば、唯一無二なものとは思われないかもしれない。例えば、ジャストロウの「ウサギ-アヒル図」で考えてみよう。もし、「ウサギ-アスペクト」や「アヒル-アスペクト」を、ただ単に、図の意味の立ち現れの結果としてのみ考える場合は、それが誰にとっても自明なものに見えるかもしれない。

しかしながら、アスペクトの結果をその生成プロセス込みで考えるとすれば、事情は異なってくる。どのような仕方であるアスペクトが立ち現れるかということには、どんな範囲をひとまとまりのこととして切り出すか、何を「地」や「背景」とみなすか、何を「地」や「背景」において目立たせているかということが考えられる。一見すると自明な仕方で立ち現れているように見えるアスペクトを、その生成プロセスを明るみに出すべきものとして取り扱うならば、特定のアスペクトとは、すでに所与のものとして手に入ったものではなく、探求の成果として得られる意味の切り出し方の知識となるだろう。

#### 参考文献

Genova, J. (1995), *Wittgenstein: A way of seeing*, New York: Routledge.

Malcolm, N. (1993), *Wittgenstein: a religious point of view?*, London: Routledge.

Wittgenstein, L. (2009), *Philosophical Investigations*, 4th edition, P.M.S. Hacker and Joachim Schulte (eds. and trans.), Oxford: Wiley-Blackwell.